

祖父の思い

五年 伊藤 莉乃

穂か出ようとして、いる八月上旬の暑い日、  
今日も祖父は、水の管理のために田んぼに行  
きました。

私の家では、祖父と父が米づくりをしてい  
ます。祖父が中心に進めています。私は毎年、  
種まきの手伝いをしていきます。小さい時は、  
田植えやいねかりにもよくついていきました。  
でも、最近はずボリなどが忙しくていけません

ん。祖父は、どんなに忙しい日でも、毎日欠  
かさず朝晩の二回、田んぼに足を運びます。  
そこでは水の管理をしていますが、水が少な  
くたれば水を足して、畑が枯れたりします。  
おいしいお米を作りたいたから毎日見守って  
いるそうです。このような祖父の努力のおかげ  
で、私はおいしいお米を食べることができて  
います。

山形県をおそった七月の豪雨。私が住む大  
蔵村でも、水害がありました。私の家の田ん

ほも風水につかたり、田んぼの周りがくずれてしまったりと被害がありました。私は今年、米はもうためだと思いましたが。祖父にもその話をすると、

「消毒や補修をかんばれば大丈夫だよ。」と力強く話していただきました。どうやって直すのか聞くと、元の形に土を置いて固めて直すと言っていました。こんなに大変そうな仕事を祖父と父の二人でできるのか心配になりました。一度直して見たけどくずれてしまっていました。

ました。でもあきらめずに取り組むことがとても勇ましかったです。田んぼがくずれてかかりしていたけど、元通りにしたいというあきらめない気持ちで伝わってきました。

私の家のいねも無事に穂が出ようとしていきます。どんな状況でも、自分にできることを最後までせいっぱいする祖父のすかたから、あきらめないことの大切さを学びました。

最近、祖父はひざの調子が悪く、歩くのが

大変そうな時があります。たまに弱音を吐く  
こともあるけれど、米づくりが好きでおいし  
いお米を作りたいたいからがんばれるそうです。  
この思いだけで、五十年以上も米をつくり続  
けている祖父を私はそんなけいしています。そ  
して、家族のためにがんばる祖父に感謝の気  
持ちでいっぱいです。

私か今、祖父のためにできることは、い  
ただきます。ごちそうさまでした。をしっ  
かり言うこと、残さずいっぱい食べることで

す。そして、祖父のように夢中になれる好き  
なことを見つけることです。

今日も、祖父の思いがまったご飯をいっ  
ぱい食べて、元気に登校します。